

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホーム朝風 I	評価実施年月日	H21.9.1～H21.10.20
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	H21.10.30

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>平成20年9月1日より“地域に根ざした穏やかな暮らしを大切に、利用者の命と心のケアとご家族の心身の緩和に努めます。”に変更になった。</p>		
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>理念を印刷した紙をネームの裏側に携帯し共有、実践に向け日々取り組んでいる。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切に理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>ご家族に説明し又は郵送している。運営推進会議で参加ご家族や町内会長に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>天気のよい日、近隣を散歩しお花を見せてもらう、近隣の方に挨拶する。近くの授産施設よりパンを購入している。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会の一員として町内会総会、忘年会に参加している。町内山口小学校の資源回収活動に参加古紙を出している。山口神社祭礼に寄付している。</p>		
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>ユニットの管理者達と方法はあるか、何があるかと話し合っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入浴時、散歩時、受診時、リビングでの雑談時困っていることはないですかと各々に聞き反映させている。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	ホーム便りを2ヶ月に1回、又必要時各々の個別の電話で暮らしぶり、健康状態をお知らせしている。領収書や小遣い帳のコピーを毎月送付している。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	第三者委員会を設置し、苦情があれば積極的に解決していきます。面会時や運営推進会議等で意見をお聞きする。普段から話し易い雰囲気作りを心がけている。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎朝運営者(法人代表の院長)が訪れ、統括責任者や管理者は日々の話し合いでのスタッフの意見や提案を聞き反映させている。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	入居者の病状急変時、他病院受診時又他区の病院への検査通院時家族遠方の為付き添い要望時職員を確保し調整に努めている。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	運営者に移動や離職を必要最低限にさせていただくようお願いしている。グループホームに適した資質を有するスタッフを採用し認知症介護の経験ある方が勤めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>北海道認知症高齢者グループホーム協議会の“認知症介護スタッフ研修会”に職員を参加させ育成に取り組んでいる。立花病院の医療安全研修会の“誤嚥事故の対策について”等の研修会に参加学んでいる。毎週朝礼で理事長の訓話があり介護と医療について助言を頂き毎朝スーパーバイザーにより助言を受けている。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>手稲区の管理者会議に参加、他ホームの管理者に気軽に質問したり相談している。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>系列のグループホームの職員と話をしたり、統括ホーム長や管理者に相談する。医療法人主催親睦会も開催している。</p>	
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>研修会や講座などに参加し各自が向上心を持って働けるように努めている。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>この1年間で相談から利用に至ったケースは無いがその様な時にはご本人と面談し思いを受け止めるよう努力する。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>この1年間で相談から利用に至ったケースは無いがその様な時にはご家族の思いを良く聞き受け止めるよう努力する。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>25 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」ま ず必要としている支援を見極め、他のサービス 利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>この1年間で初期対応は無かったがその様な時にはご本人、ご家族が必要としている 支援を見極め、専門的立場で対応に努める。</p>		
<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>26 本人が安心し、納得した上でサービスを利用す るために、サービスをいきなり開始するのではな く、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴 染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>サービス利用の開始には職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるように工 夫、家族と相談しながら進めていく。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>27 職員は、本人を介護される一方の立場におか ず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人 から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>畑の芋の植え付け、草取り、土盛り、収穫を一緒に行う。トウキビの皮剥き、枝豆の枝外 しを一緒に行う。</p>		
<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>28 職員は、家族を支援される一方の立場におか ず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく 関係を築いている。</p>	<p>スーパーへの買い物の行事に家族と一緒に参加してもらい本人の車椅子を押して一緒 に買い物をする等している。</p>		
<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>29 これまでの本人と家族との関係の理解に努 め、よりよい関係が築いていけるように支援して いる。</p>	<p>本人の妻の葬儀を通し娘との関係が良好となるように家族である娘さんの要望を聞き 葬儀参列、身支度を整えるなどの支援をしている。</p>		
<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>30 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や 場所との関係が途切れないよう、支援に努めて いる。</p>	<p>歌う事の好きな方には、系列の音楽療法に継続して行けるように時間調整し支援して いる。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
○利用者同士の関係の支援 31 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居者間の相性を考え座る位置を決めている。入居者間の個性を考え良い人間関係が作れるように必要に応じて声かけする。お互いの居室を行き来する方もいる。		
○関係を断ち切らない取り組み 32 サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	入院した時は時々面会に行き、家族に連絡する時有り。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
○思いや意向の把握 33 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自分に出きる事は何でもしたい、皆が行く所は自分も行きたい等、1人ひとりの思いや意向を把握し可能な限り支援している。思いを語れない方は何を一番望んでいるのか、皆で本人本位に検討している。		
○これまでの暮らしの把握 34 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者の兄弟が来た時には子供の頃の生活環境、性格、趣味、仲の良い兄弟、友人等の情報把握に努めている。		
○暮らしの現状の把握 35 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	スタッフで情報を共有し、一日の過ごし方を記録、申し送ってトータル的に1人ひとりの現状を把握するように努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
○チームでつくる利用者本位の介護計画 36 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	認知が進み尿便意を訴えられずに失禁してしまう事多くなった利用者に家族、スタッフと話し合い、紙オムツ、パット、おしり拭き等必要な物の用意、排尿サインを見逃さない等のアイデアを介護に反映させている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	本人家族、必要な関係者と話し合い現状に即した新たな計画を作成している。		
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子やケアの実践、結果、気づき、工夫を個別に記録、排尿、排便間隔の情報から便秘の有無、外来受診、便秘薬使用、結果を共有し、実践、介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	系列の福和会行事委員会の音楽療法、盆踊り、クリスマス会、ケアハウスと合同リハビリ体操等に参加している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	山口小学校の資源回収の協力、消防訓練の実施をしている。		
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	市、区のケアマネジャーや事業者と会議などで話し合う。現在、他のサービスの利用者はいない。必要があれば支援していきます。		
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議、地区の管理者会議に参加し助言をいただいたり学んだりしている。		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。</p>	<p>系列の病院関係者と情報交換や相談、医療連携もあり、日常の健康管理や医療活動の支援をしている。訪問歯科受診にも支援している。</p>		
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>協力医療機関の専門医がおり相談、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>		
<p>45 ○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>グループホーム管理者が看護職で外来ナースとも気軽に相談でき健康管理している。</p>		
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>病院関係者(看護師や介護職員)と情報交換、相談に努めている。入院した時面会に行き安心感を持たせ、病状の把握に努めている。</p>		
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>重度化した場合、家族、医師とよく話し合い全員で方針を共有している。</p>		
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>系列の病院に入院する事多いが、家族の希望を聞き掛かりつけ医と連携して支援している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>朝風 I より自宅に住み替えした方はいらっしゃらないが、入院先に回数多く面会に行き、情報交換を行う。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>守秘義務を厳守し、尊厳を持って言葉を掛け対応している。個人情報、利用者同意書(第三者への情報同意提供書)に納得していただき、プライバシーの確保に努めている。</p>		
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>利用者に病院受診する際や日課への参加時説明して納得を得ながら、自分で決めて行えるよう支援している。</p>		
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>散歩や畑、電話をする、掃除手伝い等希望に添って支援している。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>パーマ希望者は美容の方と日時相談、髭が伸びて来た方には髭剃り機を用意して剃るよう支援している。</p>		
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>一緒に食事や片づけ、モヤシの根とり、豆の筋とりもする。月1回献立会議を行い、好みに合わせて行事食を楽しめるよう支援している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
○本人の嗜好の支援 55 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	おやつは好みの物を聞き購入している。お酒、タバコは現在嗜む方はいらっしゃらない。		
○気持ちよい排泄の支援 56 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	トイレへ向かう行動より排泄察知、衣類の上げ下げを支援し失敗なく気持ちよく排泄出来るよう支援、又訴えられなく行動も不確実な方は時計測トイレ促し誘導、排泄介助し支援している。戸を閉めて介助プライバシー保護している。		
○入浴を楽しむことができる支援 57 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	健康状態により長湯など希望を聞きゆったり入浴して頂いている。		
○安眠や休息の支援 58 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	不眠の時は話し相手になり白湯を飲み安心出来るよう声かけする。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 59 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	自分のベッドのシーツを交換、たたむ事の出来る方を支援、鉢植えの好きな方の鉢購入、水遣り、手編みの支援をしている。		
○お金の所持や使うことの支援 60 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	2名小銭程度持っている。バスドライブでイオンスーパーに買い物の行事計画を立て行った。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	行事のないときに戸外に出かけるという計画を立て希望者にポプラ公園や敷地周辺、山口緑地公園へ散歩に行く。又一人で外出できない方がその時々外出希望時に戸外に付き添う支援している。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	マイクロバス利用し大浜海岸、前田森林公園、手稲駅、手稲山の紅葉等を見に出かける支援している。ご家族とともに法事に参列する、お墓参りする方の支援している。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族が遠方であまり会えない為テレカを用意し希望時に病院公衆電話機に車椅子で電話を掛けに行く支援をしている方がいる。ホームではいつでも電話を受けてご本人が楽しそうにお話している。誕生日プレゼントのお礼の手紙の郵送の支援をした。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	お茶や冷たいもの、時には畑の収穫物をご家族や面会者にお出しし、アルバムを見たり持参のお菓子を食べてお二人で和やかにお話している。	と	
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	どのような形態でも拘束を基本的に認めないと運営者及びホームのスタッフ全員で確認し対応している。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	抑制の弊害をよく理解し鍵を掛けないケアに取り組んでいる。朝風Ⅱの入居者さんが時々ふらりと入ってきてリビングソファーに座っていたり入居者さんと話していたりする。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>○利用者の安全確認</p> <p>67 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>落ち着かない等の情報を密にして見守り所在確認している。</p>		
<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>68 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>深爪した事がある方は爪切りを事務室保管とする。布団の中で縫い物をする方も預かりとする。ポリデントは預かっている。</p>		
<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>69 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>転倒しないよう荷物の整理や歩行が不安定な方にはベッドに鈴をつける。食べ物は家族が面会するとき意外食卓で食べ、介護者が必ず見守る。</p>		
<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>70 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>全職員で常に話し合っている。夜間はⅠ、Ⅱで互いに連絡し病院受診、又は往診を要請する。</p>		
<p>○災害対策</p> <p>71 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>消防訓練を年2回、病院からも参加を得て避難誘導訓練を行っている。運営推進会議で議題に取り入れて地域の方々にも知っていただく機会として働きかけている。</p>		
<p>○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>72 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。</p>	<p>転倒する危険性がある時にはベッドに鈴をつける等利用者さん一人ひとりに起こりうるリスクについて前もって話をし対応策を話し合い理解を得られるようにしている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>73 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<p>毎朝の検温、定期的な血圧、脈拍測定、声かけ、観察、で変化や異変の発見に努め外来看護師、医師と連絡相談、情報を共有している。</p>		
<p>○服薬支援</p> <p>74 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>スタッフ一人ひとりが薬について理解しており、処方変更で新しくなった薬については伝達ノートで説明し理解している。</p>		
<p>○便秘の予防と対応</p> <p>75 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>水分を定期的にこまめに取り、野菜を多く取り入れ適度な運動を毎朝一緒に行っている。</p>		
<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>76 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食後一人ずつの歯磨きを見守り、磨き残しがある方はスタッフが介助している。</p>		
<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>77 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>箸などの道具がうまく使えなくなり食事の時間が長くなる方には見守り、うまく使えるよう声かけ、疲れるようなら手助けして全量食べていただく支援している。体操後やおやつ時間で皆と一緒に水分を摂り一定量確保するようにしている。</p>		
<p>○感染症予防</p> <p>78 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>ホーム外より戻ると手洗いうがいの励行、まな板はキッチンハイター消毒拭き、掃除はハイター使用、人ごみを避け適度な温度、湿度を保つ。(ウイルスは低温、低湿を好む)インフルエンザ予防接種を受けている。</p>		
<p>○食材の管理</p> <p>79 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>手洗い励行、調理器具消毒。食器は手洗いし、乾燥機使用。毎日新鮮で安全な食材を使用。冷蔵庫など掃除の徹底。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p> <p>出入りする為のスロープ、階段両方あり手すりもついている。玄関横にはつつじやサクラランボの木を植え親しみやすいと思われる。</p>		
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> <p>カーテンは二重で日差しの眩しい時にはレースカーテンを引く。窓を拓くして庭の木や景色が見やすく、年間を通して季節の飾り付けを行い季節感を取り入れている。テレビは騒音にならないように気をつけている。</p>		
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> <p>多勢でいるリビングはソファは5つ、廊下の奥に2~3人で話せる長椅子もある。</p>		
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> <p>お仏壇、筆筒等馴染みの家具、好みの小物を置き、ご本人が居心地良く暮らせるようにしている。</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p> <p>空調設備があり、体感に応じて温度調節している。居室の換気もこまめに行っている。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> <p>廊下、トイレ、お風呂場、玄関スペース等手すりにつかまり歩くことができる。トイレは5ヶ所あり車椅子で中まで入り使用できるトイレもある。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>洗面台の鏡にカーテンあり混乱しそうな人には使用できる。トイレや居室に呼び出しベルがあり、常に巡回し見守りしているがトイレの中で時に失敗してしまった時は自分で押して知らせ介助を受け自立している方もいる。</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>ホームの横に畑を作りミニトマト、きゅうり、芋を植え利用者と収穫する。前庭にサクランボ、桜の木がありサクランボ狩り、お花見会、収穫祭を行っている。中庭にセキレイが来る季節にはよく鳴いている。</p>		



V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	◎①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	◎①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	◎①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	◎①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	◎①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	◎①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
94 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	◎①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	◎①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ◎②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている            ◎②少しずつ増えている            ③あまり増えていない            ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>◎①ほぼ全ての職員が            ②職員の2/3くらいが            ③職員の1/3くらいが            ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が            ◎②利用者の2/3くらいが            ③利用者の1/3くらいが            ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が            ◎②家族等の2/3くらいが            ③家族等の1/3くらいが            ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)